

防災啓発 地震に備えて

日本は地震列島といわれるほど、ほとんど毎日どこかで地震が発生しており、最近では新潟中越地震、福岡西方沖地震が大規模で甚大な被害をもたらしました。

三重県でも、現在も含めて近い将来、東海地震・東南海地震・南海地震の発生による被害が心配されています。

地震のメカニズムを理解し、正しい知識を身につけておきましょう。

地震のメカニズム

マグニチュードと震度の関係

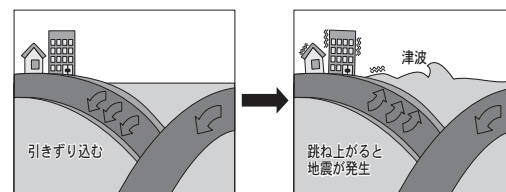
マグニチュードと震度はおおよそ同じ数値となるため誤解されることがありますが、マグニチュードは地震の強さを表し、震度はある場所においてどれくらい揺れたのかを表します。

例えば、ここに大きなスピーカーがあるとします。大音量で音楽を流した場合、近くで聞くとうるさいですが、遠くで聞くとかすかにしか聞こえません。この場合、スピーカーから出す音量を表す数値がマグニチュードにあたり、様々な場所や状況によって耳で聞こえる音量を表す数値が震度にあたります。

発生のメカニズム

日本列島周辺では地中のマンツルの動きによって大陸プレートと海洋プレートがお互いに押し合っており、長年にわたって蓄積されたエネルギーが限界を超えたときに、地下の岩盤が破壊され、ズレが生じます。これが地震です。

種類は大きく2つのタイプがあり、海溝型地震と内陸直下型の地震があります。



海溝型地震

海洋プレートが大陸のプレートの下に沈み込んでいるため、定期的に大陸プレートが跳ね上がって発生する地震

特徴・横揺れ

- ・揺れている時間が長い（1分以上続くときもある）
- ・大津波が来る可能性がある
- ・100～150年の間隔で発生する

過去の地震 安政東海地震、東南海地震、南海地震、北海道南西沖地震、スマトラ沖地震

内陸直下型地震

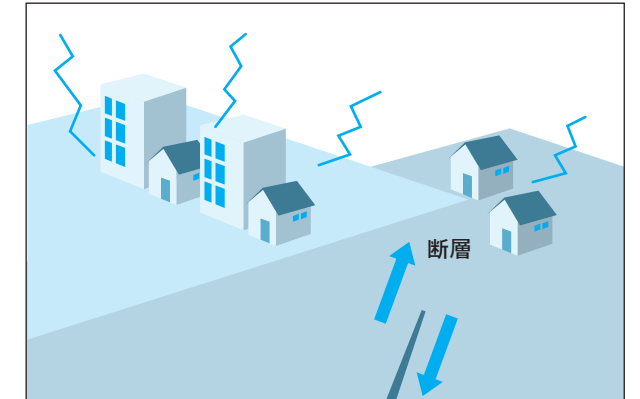
陸地の地下で活断層がずれて発生する地震

特徴・縦揺れ

- ・揺れている時間が短い
- ・都市直下で発生する危険性がある

過去の地震

天正地震、伊賀上野地震、濃尾地震、三河地震、兵庫県南部地震、新潟県中越地震



東海地震・東南海地震・南海地震の発生確率と想定

○東海地震……いつ発生してもおかしくない M8.0 震度5強

津波が発生した場合、高いところで5m以上

○東南海地震…今後30年のうちに60%の確率 M8.1前後

○南海地震……今後30年のうちに50%の確率 M8.4前後

東南海・南海地震が同時に発生した場合はM8.6、三重県内沿岸部は震度6以上

津波が発生した場合、高いところで9m以上

※これら3つの地震は同時に発生する可能性もあとされています

※三重県の被害想定調査による

三重県北中部の活断層

東海・東南海・南海地震だけでなく、三重県北部は活断層が多いことで有名です。

新潟中越地震のような内陸型地震への備えも必要です。

- ① 養老-桑名-四日市断層帯（養老断層、桑名断層、四日市断層）
- ② 鈴鹿東縁断層帯
- ③ 布引山地東縁断層帯
- ④ 頓宮断層
- ⑤ 木津川断層帯
- ⑥ 伊勢湾断層帯（伊勢湾断層、鈴鹿沖断層、白子-野間断層、内海断層）

今回は、被害想定と地震対策について考えます。地震に備えるための住宅の耐震診断や耐震化を考えたり、地震に対する素朴な疑問、家でできる地震対策について知りたい場合は、員弁庁舎総務課までお問い合わせください。

木造住宅耐震診断（無料）、耐震補強工事補助金については、大安庁舎住環境整備課 ☎78-3541までお問い合わせください。

問い合わせ先……員弁庁舎 総務課 ☎74-5801 FAX74-5800

